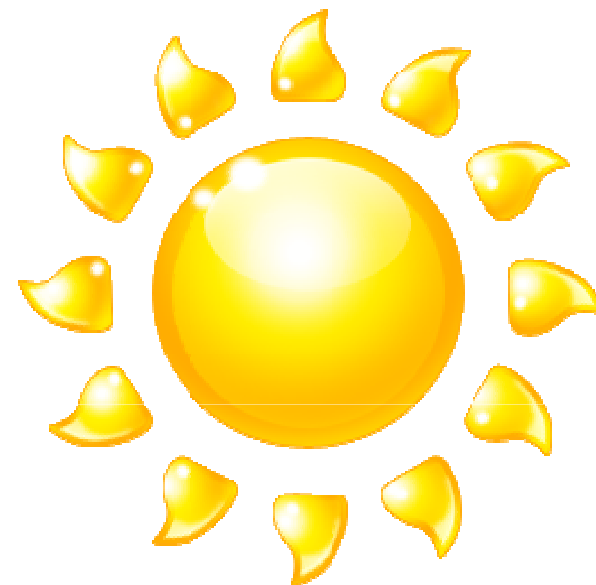




第144回 人間サイエンスの会 講演

@衆議院第一議員会館・大会議室

『自然から学ぶ 幸福社会の実現』



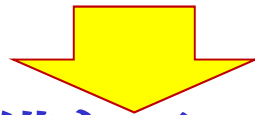
2012年9月20日

東北大学大学院・環境科学研究科 特別講師
首都大学大学院・ビジネススクール 客員教授
ブレーメン・コンサルティング(株) 代表
岡本享二 (おかもときょうじ)



講演の目的

- ・ 現在わが国は戦後最大の難局に差し掛かっている
 - 政治の混迷、経済の低迷、国際社会での衝突
 - 人心の荒廃、高齢化社会の到来、若年層の就職難
 - 社会喪失(单身所帯、孤独死、児童虐待、いじめ)
- ・ 対処療法的な施策では根本的な改善は望めない
 - 複雑化した社会制度、ポイント制度、各種規制、過剰なセキュリティなど、数々の施策は、裏を返せば責任逃れか人気取り
- ・ 日本人に古来から備わる「自然と共に生きる知恵」
「自然から謙虚に学ぶ知恵」の見直しが急務





目次と進行方法

I) 企業の社会的責任(CSR)の追求から見えてきた日本社会

- 企業の社会的責任(CSR)とは？
- 日米欧のCSR(企業の社会的責任)比較
- 国際社会の動向と閉鎖的な日本社会

CSR教育用
ビデオ投影

II) CSRの問題点と新しい動向

- CSRとグリーンウォッシング(見せかけの緑化)
- 生物から学ぶバイオミミクリー(生物模倣)

III) 自然から学ぶ新たな社会革新

- 経済至上主義から自然資本主義へ
- 昔の生活や生物から学んだ社会革新

NHKのクローズ
アップ現代投影

☆進行にあたって、NHKの取材ビデオや教育用ビデオを
適宜挿入して、わかりやすい講演に努めます。